

令和4年度 在宅医療講演会

1 日 時 令和4年8月29日(月) 19:00~21:00

2 参加方法 Zoom ミーティング

3 内 容 高齢者に多い精神科診療の基本と訪問診療の実際

1)講演

(1)講話「うつ病と認知症の基本について～鑑別と接し方のポイント～」

講師：大分丘の上病院 院長 帆秋善生先生

(2)講話「生き方、逝き方に寄り添う訪問診療～認知症、精神疾患もふくめて～」

講師：在宅支援クリニックえがお 院長 山内勇人先生

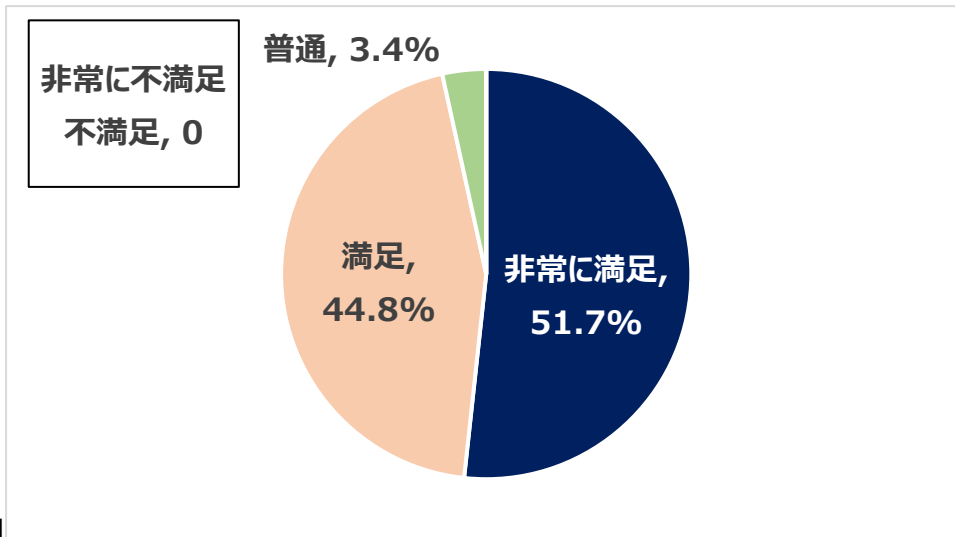
2)参加医師による意見交換会

4 参加医師(57名)の内訳

大分市医師会 22名/大分郡市医師会 18名/大分東医師会 5名/大分市以外の医師会 12名

5 アンケート集計

問 1.本日の在宅医療講演会の満足度はいかがでしたか？(回答者計 29名)



【自由記述】

- ・全体像が見えやすくなる講演でした。
- ・内容が楽しかった。おもしろかった。
- ・講演時間をゆっくり長くとってもらうとよいかと思いました。
- ・日常診療に有用
- ・入院患者の薬物療法ふり返りにつながった
- ・専門外の疾患をよく理解できた。
- ・臨床に役立ちました。
- ・山内先生の訪問診療の様子がわかり、頭が下がります。帆秋先生のレビューも頭の整理に役立ちました。
- ・周辺症状に対する薬の使用方法や睡眠薬の使い方など、少しですが勉強させていただきました。
- ・ローカルだからこそその議論は勉強になりました。
- ・うつ病と認知症の違い、患者の接し方がよくわかりました。訪問診療についても、寄り添い方がよくわかり、大変有意義な講演会でした。
- ・精神患者、認知症などの知識が増えた。
- ・うつ病と認知症の基本からBPSDの症状への薬物療法も教えていただいて、とてもよかったです。

問 2.講演(1)「うつ病と認知症の基本について」の感想や印象に残っている内容があればお聞かせください。

【薬に関すること】

- ・実際の薬の使い方が参考になった。
- ・効果がなくなれば、断薬が必要な事。
- ・ミルタザピンの有用性については、実感しています。食欲増進や睡眠促進作用か抗ヒスタミン作用であることを本日初めて知りました。
- ・薬剤投与量を具体的に聞いてよかった。
- ・投薬の考え方など参考にする部分が多く、大変勉強になりました。
- ・薬の使い分けについて、違いが何となく理解できた。
- ・認知症の方の不眠に対する処方参考になりました。
- ・眠剤の選択方法について学びました。身内の認知症に対する評価ができ、いろいろ反省すべき点を気づかせていただきました。
- ・具体的な BPSD に対する処方例など、すぐ使える情報が多かった。

【知識、勉強になった】

- ・知識の整理ができた。
- ・本当に困ったときには精神科救急の仕組みが使えることがわかりました。
- ・大変勉強になりました。お恥ずかしながら忘れかけていたことも多々ありましたので、拝聴できて良かったです。今後の診療に役立ててまいります。
- ・苦手な分野で、今後再度学びたい。
- ・うつ病が高齢者には多いこと
- ・詳細な資料と講義ありがとうございました。
- ・とても勉強になりました。時間が足りない感じがしたので、もう一度続きを拝聴したいと思いました。

問 3.講演(2)「生き方、逝き方に寄り添う訪問診療」の感想や印象に残っている内容があればお聞かせください。

【診療に取り組む姿勢】

- ・楽しそうな活躍がみてとれました。診療を楽しんでいますね。
- ・山内先生が大変だけど、楽しく認知症の患者さんによりそっているのが印象的でした。
- ・平素より大変お世話になっております。先生の訪問診療の実際を知って頭が下がる思いです。僭越ながら私も、おひとりおひとりに敵ではなく味方でありたいと思っていることを知ってもらって、寄り添える医療を目指してまいります。
- ・大変な面と充実感を得られることもあることが感じられた。
- ・大変にエネルギーがいることだと思います。
- ・患者さんが困っているのを何とかするのが一番です。こちらが困ってはいは始まりません。山内先生の心意気にはいつも感心させられます。
- ・最前線に飛び込む姿勢がすごい。
- ・地域に根ざした訪問診療はすばらしいです。
- ・認知症に関わらず、それぞれにヒストリーをもって生きている。患者さんに向き合う方法を教えていただきました。
- ・医療介護の枠にとらわれないサービスを提供するとあのような効果がでるのだという驚きと、本人の困りごとにこたえる味方であることをしっかり伝える重要性を学べた。
- ・先生の取組みに感銘を受けました。

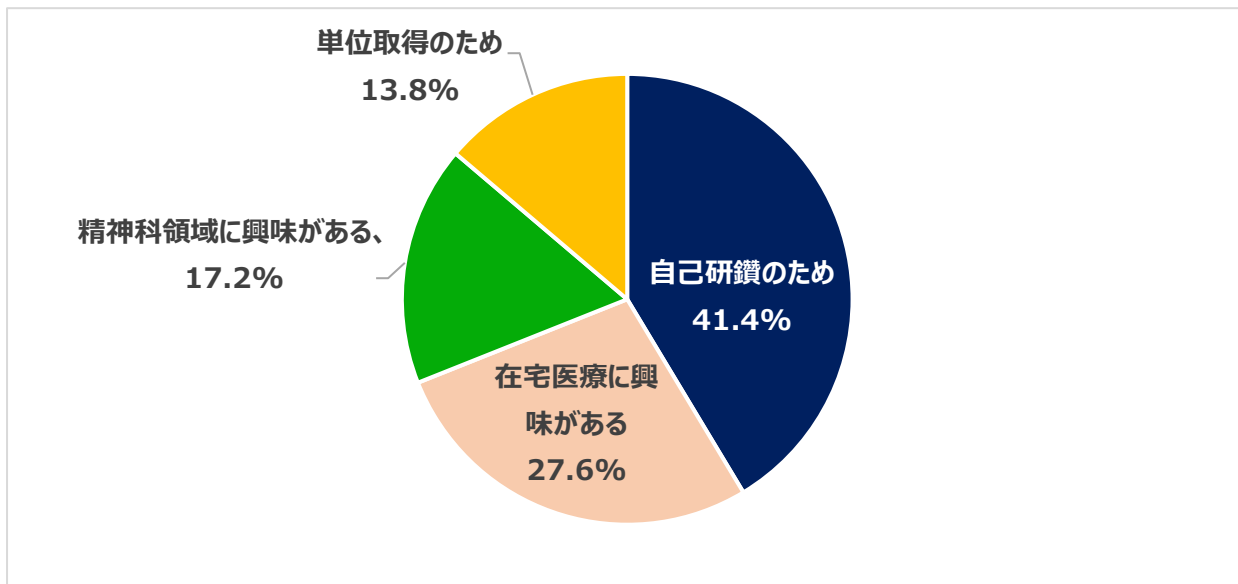
【参考、勉強になった】

- ・参考になった。
- ・訪問診療の現状や取組み方など勉強になりました。
- ・妄想性障害の注意点では参考になる点が多かったです。

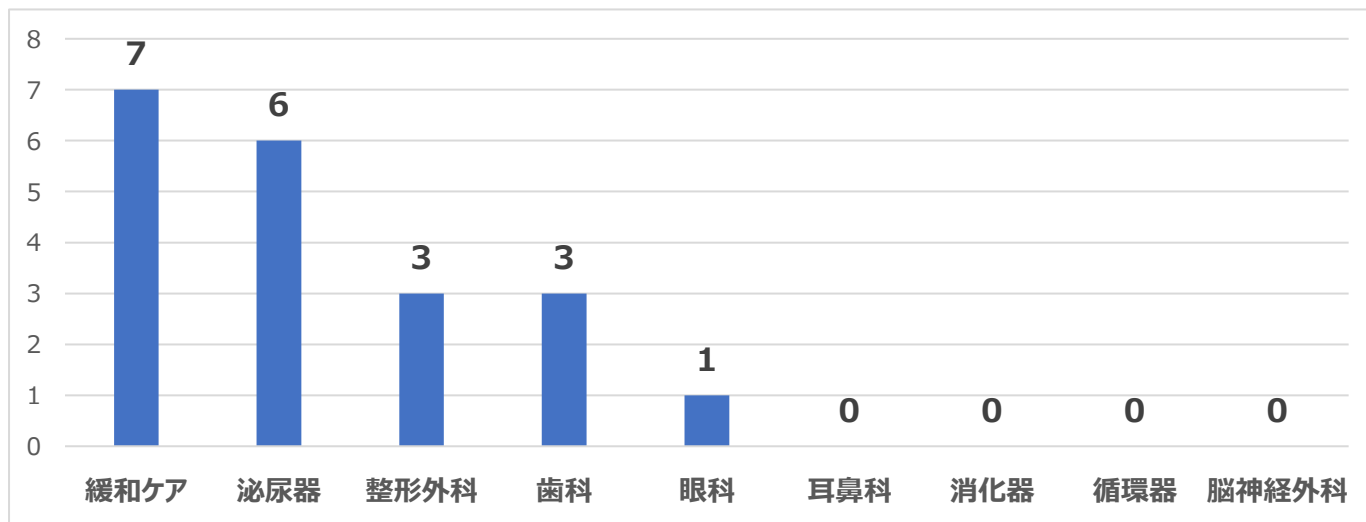
【その他】

- ・在宅療養が無理とみられる方々を在宅にもちこめるのはすごいです。できれば処方内容を教えていただけたらと思いました。
- ・すばらしい講演でした。その2（続き）を拝聴したいです。今度はうまくいかなかった例、ご苦労された例などあればお聴きたいです。
- ・外来を行いながら、時間を割いて訪問診療をなさる先生方に敬意を表します。

問 4.今回研修会に参加された理由について教えてください。（回答者計 29 名）



問 5.今後、専門疾患でどのような領域のテーマがよいですか？ その他、希望するテーマがあればご記入ください。



【その他の意見】

- ・若年者の精神科対応に頭を悩ませています。
- ・精神科訪問看護
- ・認知症をもう一度（2人）
- ・訪問看護との連携。こんなことを書いてもらったらいいとかを教えてください。
- ・在宅医療、認知症 自験例の報告会
- ・高齢者の関節疾患
- ・リハビリ
- ・外来診療と訪問診療の両立の秘訣

問 6.参加医師による意見交換会の感想があればご記入ください。

- ・臨床に役立つ
- ・ぜひもっと長くしてほしい。
- ・会場の参加者からの日頃の困りを聞いてみたかったです。
- ・時間の関係もあったかもしれませんが、意見交換会になっていませんでしたね。
- ・今回のテーマでは意見交換は難しいと思うので、時間を短くして講演の時間を長くしてもよかったかも・・・
- ・司会お疲れ様でした。

問 7.医師同士の連携やネットワークについて、ご意見があればお聞かせください。

- ・大変勉強になりました。
- ・今後も同様に続けて頂きたいです。
- ・徐々にですが医師同士の連携がすすんできた印象があります。講演中心ではなく、意見交換会中心のネットワークミーティングがあってもよいと思います。
- ・精神科疾患が疑われ、どこに照会しようか迷うときがあります。そんなときに使えるネットワークがあれば助かります。
- ・ネットワークは大切です。
- ・いつもいろんな企画をしていただきありがとうございます。引き続きよろしくお願いします。早く懇親会がついている会をやりたいですネ。コロナ収集を願っております。
- ・豊後大野市にも連携があってほしい。

6 意見交換会

意見交換で話し合われた意見

- ・精神科医でない医師が訪問診療を行う際、BPSD の対応が 1 つの大きな課題となる。向精神薬の処方がある程度できるようになり、どこまで関われるか？ どういった症状がみられる場合には精神科に紹介した方がいいのかの見極めについて。
- ・精神科の外来受診を拒んでいる患者さんに受診を促すコツについて。
- ・認知症の患者さんで、本人が服薬を拒否している場合の対応について
- ・眠剤を長く飲んでいると認知症やうつ病になりやすいと耳にするが、その実際について。
- ・精神科病院の予約がなかなかとれない場合の対応について。
- ・精神科訪問看護師との関わりについて。